

2020年11月16日

各 位

会 社 名 株式会社ダイオーズ
 代表者名 代表取締役社長 大久保 真 一
 (コード：4653、東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 稲 垣 賢 一
 (TEL. 03-5220-1122)

第2四半期連結業績予想と実績値の差異及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月16日に公表いたしました2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年3月期通期の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と実績値との差異

(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 10,489	百万円 △1,963	百万円 △2,018	百万円 △2,021	円 銭 △150.52
実績値(B)	11,071	△1,279	△1,343	△1,092	△81.35
増減額(B-A)	582	684	675	929	—
増減率(%)	5.6	34.8	33.4	46.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	17,923	776	733	497	37.06

2. 2021年3月期通期連結業績予想値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 25,232	百万円 △2,322	百万円 △2,466	百万円 △2,610	円 銭 △194.41
今回予想(B)	23,433	△1,903	△2,028	△1,653	△123.10
増減額(B-A)	△1,799	419	438	957	—
増減率(%)	△7.1	18.0	17.8	36.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	36,336	1,514	1,480	1,013	75.45

3. 差異及び業績予想修正の理由

①第2四半期（累計）

当社は、国内部門においては当上半期の損失計上を見込んでおりましたが、飲料事業の運営コストを圧縮する一方で環境衛生事業の需要拡大により新規獲得が伸長した結果、利益を確保しました。他方米国部門においては従業員の減少や支店の統廃合、事務機能の合理化等による支出の削減を行うとともに、キャッシュフロー重視の経営に変更したことで経費を抑制しました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が期初予想を上回る結果となりました。

②通期

国内部門においては新型コロナウイルス感染拡大の第3波到来を受け、今後政府からの出勤抑制等が再度要請されることで事業所へのサービス提供に大きな影響を受ける懸念があります。先行きの見通しが不透明な状況ですが、下半期単体でも売上、利益ともに期初予算を超える実績を残すべく、あらゆる施策を講じてまいります。

米国部門においては想定を超える感染拡大の影響が長期化していることから、売上高は期初予想を下回ることを見込んでおります。一方で利益面は経費抑制が進んでおり、期初予想を大きく上回る見込みです。

これらの状況を受け、通期連結業績予想を修正することといたしました。

- ※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上